

食料安全保障に関わる情報収集への地球観測衛星データの利活用について

農林水産省と宇宙航空研究開発機構との「農林水産分野における地球観測衛星データ等の利用の推進に関する協定」(令和元年 10 月 1 日締結)のもとで実施する地球観測衛星データ利用計画について、当該基本協定書第3条に基づき、データの利用、役割分担等についての細則を次のとおり定める。

1. 協定名	農林水産分野における地球観測衛星データ等の利用の推進に関する協定	
2. 担当部署	【農林水産省】 大臣官房政策課食料安全保障室 【JAXA】 第一宇宙技術部門 地球観測研究センター、衛星運用利用センター	
3. データの利用概要	GCOM-W, GPM などによる衛星プロダクトを提供する農業気象情報衛星モニタリングシステム(JASMAI)を JAXA から食料安全保障室に移管した上で、世界の主要作物生産地域の土壌水分量、降水量、地表面温度、日射量、植生指数等を地図上に視覚化及びグラフ化し活用。	
4. 期待される成果	地球観測衛星から得られる農業気象情報を用いて、世界の主要作物生産地域の作柄をモニタリングする我が国独自のシステムを構築し、農水省が世界の主要生産地域における穀物等の作柄情報の収集・分析に活用。また、システムの一般公開(一部または全部)も行い、輸入商社・実需者が穀物等を調達する際の判断材料として継続的に提供。これらにより、安定的な輸入を確保し、我が国の食料安全保障の確立に貢献。	
5. 役割分担	【農林水産省】 ・JASMAI の JAXA からの移管 ・JASMAI 移管後の省内・一般への公開、表示機能の充実及び予測機能の付加、利用実績の共有 【宇宙航空研究開発機構】 ・JASMAI のソースコード及び JASMAI の運用で活用している衛星プロダクトの提供 ・JASMAI 移管のための技術支援及びその後の適切な運用、利活用にに向けた助言	
6. 期間	農林水産分野における地球観測衛星データ等の利用の推進に関する協定と同期間	
7. 実利用実証	実利用実証期間: N/A 無償データ提供希望数(ALOS-2): N/A	
8. 年度利用データ量	GCOM-W, GPM 等: JASMAI 掲載情報の作成に必要な GCOM-W, GPM などによる農業気象に関わる衛星プロダクト(LST、降水量、土壌水分、植生指数等)の全量	
9. データ提供方法	ALOS-2 以外	G-portal、JASMES、GSMaP のデータ提供サーバーによるオンライン提供
10. 成果報告書の提出	☒ 可 / ☐ 否 可の場合(提出時期): 毎年度末 否の場合(提出できない理由)	
11. 農林水産省 担当者		
担当者名	電話	E-mail
主) 池田 龍起	03-6744-2368	██████████@maff.go.jp
副) 森田 亜由子	03-6744-2368	██████████@maff.go.jp
12. JAXA 担当者		
担当者名	電話	E-mail
主) ██████████	██████████	██████████@jaxa.jp
副) ██████████	██████████	██████████@jaxa.jp
農林水産省 大臣官房参事官(食料安全保障)		国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構
██████████		第一宇宙技術部門 地球観測研究センター長
██████████		██████████
日付: 令和 元 年 1 月 7 日		日付: 令和元年 12 月 25 日